

野菜の緊急需給調整対策

- 野菜の中でもキャベツ、たまねぎ等は露地で栽培されることから天候の影響を受けやすく作柄・価格の変動が大きいこと、また、流通量も多いことから、これらの価格と供給の安定を図ることは、国民消費生活上も極めて重要であることから、国が緊急需給調整対策を実施。
- 価格低落時には、生産者側の発意により、生産者も1/2を拠出した資金を用いて、出荷の後送り、加工用への仕向け、市場隔離を実施。価格高騰時には、供給の安定に向けた要請を関係者に行うほか、出荷の前倒しを実施。

価格低落時の対策

○ 出荷の後送り

キャベツ、たまねぎ等の露地野菜の出荷を抑制するため、出荷の後送りを実施。
生産者に対しては、後送りによる品質低下相当分を助成。

○ 加工用販売

キャベツ、たまねぎ等の露地野菜の出荷を抑制するため、当初市場向けであったもののうち、供給過剰分を新たな加工用途に出荷。
生産者に対しては、種子・肥料・農薬等に要した物財費相当分の一部を助成。

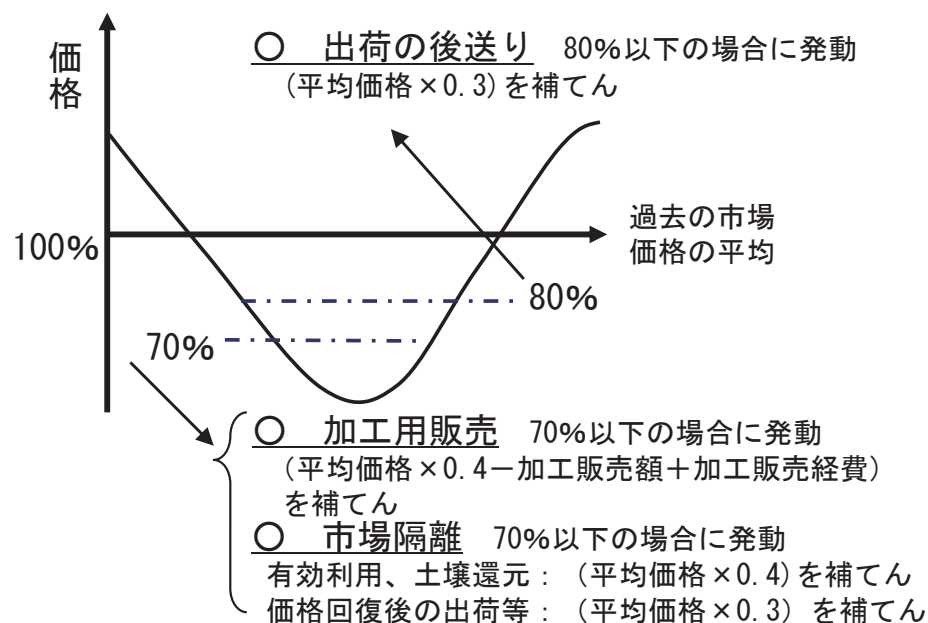
○ 市場隔離

キャベツ、たまねぎ等の露地野菜の出荷を抑制するため、ほ場を特定して一定期間出荷を停止し、加工、飼料化等の有効利用用途への販売等に努め、なお過剰野菜が残る場合には土壌還元を実施。
生産者に対しては、種子・肥料・農薬等に要した物財費相当分の一部を助成。

《助成の仕組み》

国50%：生産者50%

※国、生産者の拠出により、
独立行政法人農畜産業振興機構に資金を造成



対象野菜：重要野菜〔キャベツ(周年)、たまねぎ(周年)、
秋冬だいこん、秋冬はくさい〕
調整野菜〔春だいこん、夏だいこん、にんじん(周年)、
春はくさい、夏はくさい、レタス(周年)〕

価格高騰時の対策

○ 出荷の前倒し

キャベツ、はくさい等の露地野菜の出荷を促進するため、早取り等により出荷を前倒し。出荷量を増加させた生産者に対して、早取りによる損失相当分を助成。

対象野菜：重要野菜〔キャベツ(周年)、たまねぎ(周年)、秋冬だいこん、
秋冬はくさい〕
調整野菜〔春だいこん、夏だいこん、にんじん(周年)、
春はくさい、夏はくさい、レタス(周年)〕

